

学校経営方針 検討資料

3校の経営方針をもとに、共通項をまとめるかたちで記載しました。
会議では、大きな方向性を確認します。

- ① 必ず盛り込みたい（盛り込むべき）キーワード、内容
- ② キーワードの表現

という視点で、「新たな小学校」の欄を御覧ください。



		新たな小学校	合川小学校	天名小学校	郡山小学校
1	学校教育目標	心豊かでたくましい子どもの育成 知:自ら学び考え、粘り強く課題を解決する力を養う 徳:思いやりと協力を大切にし、ともに成長する心を育む 体:健康で安全な生活習慣を身に付け、心身ともにたくましい子を育てる	豊かな人間性とたくましい実践力をもった児童の育成	自ら未来を拓く子どもの育成 ～思いやり・知力・体力～	仲間と支え合いながら、自信をもって意欲的に学び活動する、心身ともにたくましい子どもの育成
2	めざす学校像	学力向上:基礎学力を確実に定着させ、わかる授業を展開する学校 安心・安全:みんなが安心して過ごせる、楽しい学校 地域との連携:保護者や地域とともに創り上げる、信頼される学校	○確かな学力の育成をめざし、日々の学習を大切にする学校 ○子ども同士が繋がりが合い、優しさと笑顔あふれる学校 ○地域や保護者に信頼され、地域とともにある学校	○みんなが安心して過ごし明日も来たいと思う学校 ○互いに認め合いつながり合う学校 ○地域や保護者に信頼され、ともに創り上げる学校	「みんなの えがおが うれしい学校」 ○学ぶことが楽しいと思える学校 <自分が笑顔> ○仲間と共に生きる喜びのある学校 <友だちが笑顔> ○保護者や地域とともに歩む学校 <地域が笑顔>
3	めざす児童像	知:自ら学び、協働して課題を解決しようとする子 徳:思いやりがあり、違いを認め合い、他者と共に生きる子 体:健康で安全な生活を心がけ、自ら体を鍛える子	○自ら学び豊かに表現しようとする子 ○心豊かで思いやりある子 ○心身ともにたくましい子	○思いやりがあり自他ともに大切にする子 ○自ら考え、集団の中でともに学びあう子 ○健康や安全を意識し健やかな心身を持った子	○自ら学び、協働して粘り強く課題を解決しようとする子 <知> (やりぬく力・自己肯定感) ○違いを認め合い、人の気持ちを受け止めわかろうとする子<徳> (社会性・自制心) ○健康で安全な生活を心がけ、自ら体を鍛える子<体>
4	めざす教職員像	・子どもに寄り添う:子ども一人ひとりに寄り添い、共感できる教師 ・自己研鑽:常に向上心を持ち、自己研鑽に努める教師 ・地域との協議:地域や保護者と協力し、信頼される教師	○子どもにより添い、共感できる教師 ○指導力を高めるため、自己研鑽に努める教師 ○豊かな人間性を持ち、円滑な人間関係が築ける教師 ○教育に情熱と使命感をもつ教師	○児童中心の教育を実践し、向上心を持って研修に励む教職員 ○何事にも誠実・迅速に対応し、児童・保護者・地域の方から信頼される教職員 ○地域との関りを大切にした教育活動を実践する教職員	○教育に対する使命感と誇りを持ち、学び続ける向上心のある教師 ○自らの果たすべき役割について問い続け、他者と協働し主体的に取り組む教師 ○子どもに寄り添い、保護者、地域の人々と協働することを通して信頼され、親しまれる教師
5	経営方針	1 学力向上 わかる授業を展開し、基礎学力を確実に定着させる 2 心の教育 人権教育を基盤に、思いやりと協力を大切にする心を育てる 3 体力向上 健康で安全な生活習慣を身に付け、体力向上を図る 4 安心・安全 みんなが安心して過ごせる学校環境を整える 5 地域の連携 保護者や地域とともに学校づくりを進める	1 確かな学力を育成する学校づくり 2 豊かなかかわりを育み、豊かな心を育てる学校づくり 3 健やかな心と体を育む学校づくり 4 楽しく安心して学べる学校づくり 5 地域や保護者とともにある学校づくり	豊かな教育内容の創造 (1) 人権尊重:豊かな人権感覚の育成 (2) 学力向上:基礎学力の定着 (3) 体力向上:バランスのとれた体力と健康安全意識の向上 (4) 地域と連携した豊かな教育活動の推進 (5) 新たな学校への再編に向けた準備	1 学ぶ楽しさ、できる喜びを感じさせる授業づくり(やりぬく力) 2 自分が認められ、自己肯定感を高められる場づくり(自己肯定感) 3 人権を大切にし、仲間と支え合い、共に生きる集団づくり(社会性、自制心) 4 保護者や地域とともに歩む学校づくり 5 教職員自ら成長を望み、共に働く喜びを感じられる職場づくり

6	達成方策	わかる授業 ICT活用を含めた、協働的な学びを推進する 学力向上 全国学調の活用による、授業改善の推進 心の教育 考え、議論する道徳 人権教育の推進 体力向上 体力テストの活用、食育の推進、健康な生活習慣 安心・安全 長期欠席児童への対応、いじめ防止の取組 防災・減災教育 地域連携 学校運営協議会での熟議、地域ボランティアとの連携、地域学習 地域への情報発信 組織力・職場環境 教職員の実効ある働き方改革	〔確かな学力を育成する学校づくり〕 1.わかる授業をめざした指導方法の工夫・改善に取り組む 2.ICT機器を活用した授業を日常的に実施し、効果的な指導を推進する 3.学校と家庭が連携し、家庭学習（学年×15分）の習慣化と定着化を図る 4.外国人児童生徒支援員の活用し、英語に慣れ親しむ時間の設定（1～3年） 〔豊かなかかわりを育み、豊かな心を育てる学校づくり〕 1.研修部会、生指部会との連携→非認知能力の向上 2.人権教育を基盤にした集団づくり、特別支援学級籍への理解を深める授業の実施。 3.多文化共生、国際理解→外国につながる児童への理解 〔健やかな心とからだを育む学校づくり〕 1.全学年で体力調査を実施・結果分析→苦手種目の取組へ 2.食育（望ましい食習慣を身に付け、自ら健康管理ができる児童の育成） 3.基本的な生活習慣を身に付け、健康で心豊かな生活を営むことができる児童の育成。 〔子どもが楽しく安心して学べる学校づくり〕 1.長期欠席児童への対応を継続的に行う。家庭と連携し児童に寄り添った支援を行うとともに、ケース会議や支援会議を開催し、関係機関とも連携した対応を行う。 2.教職員間で情報共有を徹底し、いじめや問題行動の未然防止・早期発見・早期対応に努める。 3.P T Aや安全安心ボランティアなどと連携し、登下校時の児童の安全確保に努める。 4.防災訓練・安全教室を実施し、自分の命は自分で守れる児童を育てる。 5.教職員の時間外労働時間縮減に取り組み、働きやすい職場づくりをめざす。 〔地域や保護者とともにある学校づくり〕 1.学校運営協議会での協議を大切にし、地域とともにある学校づくりを進める。 2.学校だより・学年通信、ホームページ、メール配信などを活用し、情報発信に努める。 3.学校自己評価、学校関係者評価を実施し、授業や教育活動の改善につなげる。 4.天栄中学校区の小中学校と連携した取組を進める。	（1）特別支援教育の視点による教育活動と豊かな集団作り ①学級づくり：いじめを許さない学級づくり 不登校を生まない学級づくり ②人間関係形成能力の育成：自己肯定感・自己有用感の向上 （2）学力向上 ①学力の実態把握：全国学調及びみえスタの活用 ②授業改善：わかる授業実践，授業研究 ③基礎学力の定着：指導力向上、学習規律の確立、 ④家庭学習の充実：学習習慣の確立 （3）体力向上：体力テストの活用，生活習慣の向上 （4）キャリア教育の推進：グローバルの視点を持った実践 未来応援人～FOR YOUR FUTURE ～等の活用 （5）非認知能力の育成：「やりぬく力」「自制心」「自己肯定感」「社会性」を意識した教育活動の実施 （6）地域との連携 ①開かれた学校づくり：各種通信の充実、HPの更新 ②地域資源の活用：ふるさと先生との連携 ③協働型コミュニティ・スクールの推進 （7）組織力強化、職場環境の改善 ①教師力アップ：ICTの活用，生徒指導力の向上 ②研修会への積極的な参加と職場への還流 ③チーム学校：校務分掌の適材適所，チームワーク ④ワークライフバランスの実現による教職員の健康保持・増進 ⑤時間外労働時間・総勤務時間の縮減 （8）令和8年度開校の新たな学校への再編に向けた準備 ①郡山小、合川小児童との交流を積極的に行う ②準備委員会を核に、保護者・地域・教育委員会と連携し準備を進める	1 学ぶ楽しさ、できる喜びを感じさせる授業づくり（やりぬく力） ・「考えを伝え合い、ともに学び合う子どもの育成」を研修主題とする校内研修に取り組む。表現する（話す・書く）ことが楽しいと思える授業づくり ・学力調査等の結果を活用し，授業改善と子どもの学力の向上につなげる。 ・ICT機器を活用したり，具体物を活用したりして，協働的に学ぶ楽しさがあり，わかる授業づくりに取り組む。 ・学校全体で，学年に応じた系統的な学習規律や生活マナーの確立 ・「こおりやまタイム」で基礎的な力の定着を図る。 2 自分が認められ，自己肯定感を高められる場づくり（自己肯定感） ・あいさつをしたり，表現する喜びを感じたり，自分のよさを発揮できる場を学校生活の中で設定していく。「成長作文」等，成長した姿を見つめる取組を行う。 ・授業の中で，一人ひとりの考え方を尊重し，正解不正解だけにこだわらず，多様な思考過程を理解する力を育成する。 ・コミュニケーション力を養うため異学年との交流やファミリー活動に取り組む。 3 人権を大切にし，仲間と支え合い，共に生きる集団づくり（社会性、自制心） ・いじめを許さず，仲間とともによりよい関係つくるための学級経営に取り組む。 ・「考える道徳」「議論する道徳」の視点を大切にし，道徳の時間や学校生活づくりを通して，人権意識や自分との関わり意識を高める ・子どもの具体的な姿から，実態・課題を把握し，ともに生きるための課題解消の手立てを学び合う人権研修に取り組む。 ・不登校傾向の情報を学校全体で把握し，必要に応じて支援会議を開いて対応する。 4 保護者や地域とともに歩む学校づくり ・学校運営協議会で熟議し，学校運営を進める。 ・地域ボランティアと子どもが交流する「作志（つくし）の部屋」の開設 ・読み聞かせや学習活動にかかる支援や安心安全のため，地域ボランティアの協力を得る。 ・HPや通信等を発信し，教育活動の情報を積極的に提供し，啓発を進めるとともに，子どもの成長した姿を共有する。 ・公民館等の地域活動の情報を校内で紹介する場を設置する。 ・天栄中学校区の小中学校等と連携した取組を進める。 ・学校規模適正化（新しい小学校再編）に向けて地域と連携して取組の推進 5 教職員自ら成長を望み，共に働く喜びを感じられる職場づくり ・報告，連絡，相談を大切にし，子どもの成長を自らの成長と重ね，それを意欲とするプロ教育チーム（職員集団）づくりを進める ・校内での授業実践の紹介や交流を行うとともに，指導主事等の支援を受け，教員の指導力向上を図る。 ・総勤務時間を縮減するため，具体的に取り組み，ワークライフバランスの見直しを進める。
7	重点取組事項				◇ 「学力向上」ICT端末を活用した協働的な学びの充実 ◇ 「特別支援教育の充実」 ◇ 「不登校傾向児童の早期支援」 ◇ 「人権教育の充実」 ◇ 「教職員の総勤務時間の縮減」 ※地域連携の充実